

柔道整復実技審査 個人票〔評価 1-1,2〕

(様式 3-1)

養成施設名			
受審番号		受審者名	

実 技 項 目	①～⑦ 診察及び整復・⑧～⑯ 診察及び検査の能力	
	① 鎖骨定型的骨折 ② 上腕骨外科頸外転型骨折 ③ コーレス骨折 ④ 肩鎖関節上方脱臼 ⑤ 肩関節前方烏口下脱臼 ⑥ 肘関節後方脱臼 ⑦ 肘内障	⑧ 肩腱板損傷 ⑨ 上腕二頭筋長頭腱損傷 ⑩ ハムストリングス損傷 (肉ばなれ) ⑪ 大腿四頭筋打撲 ⑫ 膝関節側副靭帯損傷 ⑬ 膝関節十字靭帯損傷 ⑭ 膝関節半月板損傷 ⑮ 下腿三頭筋損傷 (肉ばなれ) ⑯ 足関節外側靭帯損傷

出題した問題番号を記入して下さい :

評価 1-1 ①～⑦ 診察及び整復		評価 1-1 ⑧～⑯ 診察及び検査	
すべてチェック (できた:○ できない:×、評価できない:ー)			
1) 患者の誘導が適切である		1) 患者の誘導が適切である	
2) 全身状態の観察が適切である		2) 全身状態の観察が適切である	
3) 患肢と損傷部位の状態把握が適切である		3) 患肢と損傷部位の状態把握が適切である	
4) 助手への指示が適切である		4) 検査の準備が適切である	
5) 受審者の整復準備が適切である		5) 一つ目の検査手順が適切である	
6) 整復の手順が適切である		6) 二つ目の検査手順が適切である	
7) 整復後の確認が適切である		7) 検査後の確認が適切である	
採 点	点	採 点	点
所要時間	分 秒	所要時間	分 秒

評価 2 口述の能力 (1 題出題し、正解:○ 間違い:× 評価できない:ー)			
注意. 国家試験必修問題レベルの出題をして下さい。			
1) 発生機序の説明ができる		6) その他の整復・固定・検査法の説明ができる	
2) 転位の説明ができる		7) 整復(検査)又は固定の注意点を説明できる	
3) 鑑別に関する説明ができる		8) 固定期間の説明ができる	
4) 症状又は所見の説明ができる		9) 指導管理の説明ができる	
5) 合併症の説明ができる		10) 予後の説明ができる	
採 点			点

コメント (評価 1-1 の採点が 4 点以下のときは、詳細な理由を記載すること)	評価 1-1、評価 2 の合計
	点

審査員氏名

審査実施日 令和 年 月 日